



徳政のうた

通國卷三



鯉滝(壹)

無

題

讚朴也
カナシム

関 事 釣 鯛

太平世花開
神代松

鯛福釣
齋師宜画

日本末唐アウキ如

他我身の人身正

一 徳宗の母後生と云う縁がいはれぬもあせぬのみ
てん縁まがりて人のこころ事いねあふ事かうとして
るわらわれるるは是人の登釋迦のまねをらしむらんを
不審まひゆりていづれはまよはれぬとてつて
一 縁はま今時世にあはれ後生縁ひとて人のこころ事いねあふ事かうとして
生縁ひふいありし縁ひをたててあふひの寵愛のほま
やのまにる縁ひをたててあふひのこころ事いねあふ事かうとして
かよするれど人の怨ひをそと余にありは縁ある我ひ
かぎりかげさかありあつてあふひの余にの怨ひを

一 かねて世に怨とてあふひのこころ事いねあふ事かうとして

それ何れにれ夢に...
加よ...
小思ん...
二つ...
ふり...

その同

ら...
三...
一...
二...
又...
...

若ぬの



て人よまかせてとさうもわかもさうは
体とし異國なるものもはなまうくあぬ
さものいん物とやらものうと心くあえん
あももらるるれと云けさるあふ書とこ
るあふはうくして我あぬものなひさ
今もあふうさた人といひてあふさる
あふさるものも我にお腹中らるものなれ
り事と云やて雲井までいああけあはれ
ふも是即天地和合れ道理人倫の根
花とさうせと云ぬれだ昔の徳はあふ
孫れあふあふもあふさるさるさるさる

ひらけぬ者ありんはめくればよきものらなれくは藝
徳とけを教りたる徳れ飛のしらぬもいれどこの徳は
ごのうらなれおとそくはくそはくそはくそはくそは
とごもやうり雷光のあけし屋はくそはくそはくそは
流ぐ親やうりけ世はくそはくそはくそはくそはくそは
まろく子けおせそ唯今死ぬる命下うりも我子ごもよ
別んぶよとるぞうごの計うくはくそはくそはくそは
後だれくはあうりもせはくそはくそはくそはくそは
秘ふかといらうりごみ人のふたにうらうりもはくそは
子いぬて一の命限うると今まが親のいせあり
とまれどく徳うりもはくそはくそはくそはくそは

家へ出入らねれぬのうらやうい君の親はくそは
あそびをされ親はくそはくそはくそはくそはくそは
あ徳とりとねまの花をばくそはくそはくそはくそは
屋うりも君もくそはくそはくそはくそはくそは
おろくも密屋がれてあまもくそはくそはくそはくそは
石と云ふ親のいせはくそはくそはくそはくそはくそは
あまもくそはくそはくそはくそはくそはくそは
あまもくそはくそはくそはくそはくそはくそは
ふよ思ふふれやういもくそはくそはくそはくそは
りまらうかふもくそはくそはくそはくそはくそは
りごもくそはくそはくそはくそはくそはくそは

一
二
三
*
一

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

○
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

○
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

あはれもまゝあはれ後人へのまじが利にとりしとて賢
人のまじとらうのりからり我れらうも 龍とつと
とんたれらるるにうらうらあるあはれとて人のまじり
とらうのりからり此のまじり海まひるあはれのあはれ
うらうら此のまじりからり此のまじり此のまじり此のまじり
くまはれこのまじり此のまじり此のまじり此のまじり
てあまらとまら此のまじり此のまじり此のまじり此のまじり
衆生此のまじり此のまじり此のまじり此のまじり
とあはれのまじり此のまじり此のまじり此のまじり
へん何れとらうあはれまじり此のまじり此のまじり
このまじり此のまじり此のまじり此のまじり

あはれこのまじり二十二あるあはれとて鳥とて人まじりと求
めんあはれこのまじり求とてまじりまじりまじりまじり
くまを命とまじりまじりまじりまじりまじりまじり
⑨ひきまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり
このまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり
らえあはれこのまじりまじりまじりまじりまじりまじり
けろひあはれこのまじりまじりまじりまじりまじりまじり
ひまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり
はまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり
まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり
あはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり
あはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり
あはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

たまひさうあやされなり 何れもあはれあーうら
回ふとゆふものゝ天賦の神の正徳とをひきとてい
るふささうあはれどもいづれ人のあはれが利に
あはれと神なくとあはれを強へたるは人のあはれ
をささうとてりしは船あは何の怪りありとてさ
食ふささう分らじまじとてささうから半廉さ
けし神とすつるを神あはれかどささうしてあはれ
金ささうのささうとてりしは船あは何の怪りありと
ささうとてりしは船あは何の怪りありとてさ
いげと孔子孟子の教もあつたささうとてりしは
ささうとてりしは船あは何の怪りありとてさ

Handwritten text in vertical columns, likely a list or index, written in a cursive script. The text is arranged in two columns, with the right column being slightly longer. The characters are difficult to decipher due to the cursive style and fading, but appear to be a list of items or names.